

母子交流に関する研究

——スキンシップについて(1)——

佐野 良五郎 荻野 七重

I. はじめに

子どもの発達に影響を与える環境要因の一つとして母親を中心とした親子関係について語る場合に、われわれはしばしばスキンシップという言葉を用いたり、耳に聞くことが多い。しかし、この言葉は和製英語¹⁾として広く使用されていて、最近は大々解釈されて用いられている。例えば「スキンシップが上手なお母さん」とか「スキンシップの苦手なお母さん」という風に報告²⁾されている。

元来この言葉は造語であるために、定義も説明もされていない。「日本語大辞典」及び「現代用語の基礎知識」³⁾によると、特に母親と子どもの肌のふれあいによって生まれる親密な交流と記載されているのみである。

今回、われわれは、母親がどのようにスキンシップという言葉を受けとめているか、そしてスキンシップというものの実態がどのようなものであるかを知る目的で、この研究に着手した。

II. 調査方法及び対象

予備調査として、20代、30代、40代の母親10名ずつにスキンシップと考えられる項目を自由に記述してもらった。その項目中、各年齢層に共通し、頻度の高かったもの30項目を選び、まとめたのが表1である。

本調査は表1を調査用紙として用い、昭和63年6月に20代33名、30代41名、40代以上32名、計106名の母親を対象として調査を実施した。これら106名の母親のうち、正規の職業を持っていた者35名、パートの職業についていた者16名、専業主婦は55名であった。

III. 調査結果

表1のスキンシップと考えられる各項目について、年齢別に各項目の平均値と標準偏差の結果をまとめたのが表2である。表から見られるように、スキンシップとして得点の高かった項目は、21. 母乳をのませる、3. 話しかける、11. おんぶする、6. 視線を合わせる、10. 添い寝する、24. ねる前に頬ずりをする、8. 入浴させる等であった。

次に対象者を職業の有無によって、正社員、パート職員、専業主婦の別に分けて、それぞれの項目について平均値と標準偏差の結果をまとめたものが表3である。この場合も多

表I 質 問 紙

調査年月日 [1988年6月 日] 対象者年齢 [20代, 30代, 40代以上] 職業の有無 [正社員, パート職員, 専業主婦] 下記の各項目について例に示したように該当の項目に○印を御記入下さい。 例：抱く 1 2 3 ④ 5 絶対にそう そう思わ どちらとも そう思う 絶対にそう 思わない ない いえない 思う					
項 目	評 価				
	1	2	3	4	5
1 おむつをとりかえる	_____	_____	_____	_____	_____
2 ミルクをのませる	_____	_____	_____	_____	_____
3 話しかける	_____	_____	_____	_____	_____
4 歌をうたってあげる	_____	_____	_____	_____	_____
5 離乳食を食べさせる	_____	_____	_____	_____	_____
6 視線を合わせる	_____	_____	_____	_____	_____
7 みつめる	_____	_____	_____	_____	_____
8 入浴させる	_____	_____	_____	_____	_____
9 ねまきを着せる	_____	_____	_____	_____	_____
10 添い寝する	_____	_____	_____	_____	_____
11 おんぶする	_____	_____	_____	_____	_____
12 いないいないばあをする	_____	_____	_____	_____	_____
13 たかいたかいをする	_____	_____	_____	_____	_____
14 一緒にテレビを見る	_____	_____	_____	_____	_____
15 子どもの寝顔をのぞく	_____	_____	_____	_____	_____
16 散歩に出かける	_____	_____	_____	_____	_____
17 日光浴をさせる	_____	_____	_____	_____	_____
18 身につける物を作る	_____	_____	_____	_____	_____
19 写真をとる	_____	_____	_____	_____	_____
20 離乳食をつくる	_____	_____	_____	_____	_____
21 母乳をのませる	_____	_____	_____	_____	_____
22 おつむてんてんをして見せる	_____	_____	_____	_____	_____
23 子どもの食べ残しを食べる	_____	_____	_____	_____	_____
24 寝る前に頬ずりをする	_____	_____	_____	_____	_____
25 本を読んでやる	_____	_____	_____	_____	_____
26 赤ちゃん体操をする	_____	_____	_____	_____	_____
27 乾布まさつをする	_____	_____	_____	_____	_____
28 一緒に玩具で遊ぶ	_____	_____	_____	_____	_____
29 育児日記をつける	_____	_____	_____	_____	_____
30 歯みがきや耳そうじをする	_____	_____	_____	_____	_____

少順位は異なるが、21.母乳をのませる、10.添い寝する、24.ねる前に頬ずりをする、3.話しかける、6.視線を合わせる、8.入浴させる、11.おんぶするの七項目が高得点を示していた。

以上二つの表より少数例ではあるが統計的に検討を加えると、21.母乳をのませるの項目で、20代と30代の母親の間、正社員とパート職員の間、主婦とパート職員の間で有意差が見られた。また、10.添い寝する、24.ねる前に頬ずりをする項目で、専業主婦と職業を持っている人の間で有意差が見られた。

次に表2、表3より得点の低かった項目は15.子どもの寝顔をのぞく、18.身につける物を作る、19.写真をとる、23.子どもの食べ残しを食べる、29.育児日記をつける等であった。これらの項目について検討を加えると、15.ねる前に子どもの寝顔をのぞく、23.子どもの食べ残しを食べる、29.育児日記をつける等は年齢の差による有意差が見られた。

また、15.ねる前に子どもの寝顔をのぞく、18.身につける物を作る、23.子どもの食べ残しを食べる等の項目では職業の有無による有意差が見られた。

その他、年齢による有意差のみられた項目は、2.ミルクを作る、14.一緒にテレビを見る、17.日光浴をさせる、20.離乳食を作る、30.歯をみがいたり耳そうじをしたりする等であった。職業の有無によって差のみられた項目は、18.身につける物を作る、30.歯をみがいたり耳そうじをしたりする等であった。

IV. 考 察

元来、スキンシップという言葉は、母親の育児行動を表現する便利な言葉として造られたものと思われる。そのために、適切な概念規定もなく、十分な説明もされていないのが現状である。しかも、この言葉は先に現代用語に示した説明をこえ、拡大解釈されて日常広く用いられている。

われわれは、このスキンシップという言葉が母親の育児行動の中で、どんな位置づけを占めているかということと、母親達がこの言葉をどのように受けとめているかということを知るために、まず予備調査を実施した。その結果から得られた表1に見られるように、スキンシップという概念は本来の皮膚接触という言葉の意味が拡大解釈されていることが理解された。その点より表1の質問項目を検討すると、三つの面より分類することができた。すなわち、身体接触を必要とする項目として、1.おむつをとりかえる、8.入浴させる、9.ねまぎを着せる、10.添い寝する、11.おんぶする、13.たかいたかいをする、21.母乳をのませる、24.寝る前に頬ずりをする、26.赤ちゃん体操をする、27.乾布摩擦をする等の10項目である。

心理的と考えられる項目として、3.話しかける、4.歌をうたってあげる、6.視線を合わせる、14.一緒にテレビを見る、15.子どもの寝顔をのぞく、25.本を読んであげる、26.一緒に玩具で遊ぶ、29.育児日記をつける等の10項目である。

上記のどちらにも属さない項目としては、2.ミルクをのませる、5.離乳食を食べさせる、16.散歩に出かける、17.日光浴をさせる、18.身につける物を作る、19.写真をとる、20.離乳食を作る、22.おつむてんてんをしてみせる、23.子どもの食べ残しを食べる、30.歯みがきや耳そうじをする等の項目である。

表2 年齢別得点の平均値・標準偏差

項目	内 容	40代以上		30代		20代		全 体	
		平均	S D	平均	S D	平均	S D	平均	S D
21	母 乳	4.8	0.5	4.6	0.6	4.9	0.3	4.8	0.5*
3	話 し	4.7	0.6	4.5	0.6	4.7	0.7	4.6	0.6
6	視 線	4.5	0.6	4.5	0.7	4.3	0.8	4.5	0.7
10	添 寝	4.4	0.6	4.4	0.8	4.5	0.8	4.4	0.7
24	頬 ずり	4.4	0.6	4.5	0.8	4.3	0.9	4.4	0.8
8	入 浴	4.3	0.6	4.2	0.8	4.5	0.7	4.4	0.7
11	おんぶ	4.5	0.6	4.3	0.8	4.3	0.8	4.3	0.8
7	みつめ	4.4	0.6	4.4	0.6	4.1	0.9	4.3	0.7
2	ミルク	4.3	0.7	4.1	0.8	4.5	0.6	4.3	0.7*
4	歌	4.3	0.6	4.3	0.6	4.2	0.8	4.3	0.7
1	おむつ	4.2	0.6	4.1	0.9	4.3	0.8	4.2	0.8
28	玩 具	4.1	0.7	4.1	0.6	4.4	0.6	4.2	0.7
25	本	4.1	0.6	4.2	0.8	4.2	0.8	4.1	0.7
26	体 操	4.1	0.8	4.2	0.7	4.1	0.9	4.1	0.8
16	散 歩	4.0	0.8	4.0	0.7	4.2	0.7	4.0	0.7
13	た かい	4.0	0.8	4.1	0.8	4.2	0.8	4.1	0.8
15	離・食	3.9	0.6	4.0	0.8	4.2	0.8	4.0	0.8
30	歯・耳	3.7	0.7	3.9	0.7	4.2	0.9	3.9	0.8*
12	い ない	4.0	0.8	3.9	0.7	3.8	0.9	3.9	0.8
27	乾 布	3.8	0.7	4.0	0.7	3.8	1.0	3.9	0.8
9	ねまき	3.8	0.8	3.8	0.7	3.8	0.9	3.8	0.8
17	日光浴	3.9	0.7	3.9	0.7	3.3	0.9	3.7	0.8*
22	おつむ	3.8	0.8	3.7	0.7	3.6	0.8	3.7	0.8
20	離・作	3.5	1.0	2.9	1.2	3.0	1.0	3.1	1.1*
14	テレビ	3.2	0.7	3.0	0.9	2.8	0.8	3.0	0.8*
19	写 真	3.0	0.9	3.2	0.9	2.8	0.8	3.0	0.9
18	身に着	3.1	0.8	2.9	1.2	3.1	1.0	3.0	1.0
15	寝 顔	3.5	0.9	2.9	1.2	2.7	0.9	3.0	1.1**
29	日 記	3.3	0.8	2.5	1.2	2.8	0.9	2.8	1.1**
23	食 べ 残	2.7	0.9	2.0	0.9	2.8	1.1	2.5	1.0**

*……P<0.05 **……P<0.01

表3 職業別得点の平均値・標準偏差

項目	内 容	主 婦		正 社 員		パ ー ト		全 体	
		平均	S D	平均	S D	平均	S D	平均	S D
21	母 乳	4.9	0.3	4.9	0.3	4.6	0.6	4.8	0.5*
3	話 し	4.6	0.6	4.7	0.5	4.6	0.7	4.6	0.6
6	視 線	4.5	0.7	4.2	0.8	4.5	0.7	4.5	0.7
10	添 寝	4.7	0.5	4.3	0.7	4.3	0.8	4.4	0.7*
24	頬 ずり	4.7	0.5	4.4	0.9	4.2	0.9	4.4	0.8**
8	入 浴	4.5	0.7	4.1	0.7	4.3	0.8	4.4	0.7
11	おんぶ	4.5	0.7	4.3	0.8	4.3	0.8	4.3	0.8
7	みつめ	4.2	0.7	4.3	0.6	4.4	0.7	4.3	0.7
2	ミルク	4.4	0.7	4.3	0.6	4.2	0.8	4.3	0.7
4	歌	4.3	0.7	4.3	0.5	4.2	0.7	4.3	0.7
1	おむつ	4.3	0.7	4.3	0.7	4.1	0.8	4.2	0.8
28	玩 具	4.3	0.6	4.0	0.7	4.1	0.7	4.2	0.7
25	本	4.3	0.8	3.9	0.8	4.1	0.6	4.1	0.7
26	体 操	4.2	0.8	4.2	0.8	4.0	0.8	4.1	0.8
16	散 歩	4.1	0.8	4.0	0.6	4.1	0.7	4.0	0.7
13	た かい	4.3	0.8	4.0	0.8	4.0	0.8	4.1	0.8
5	離・食	4.1	0.7	3.8	0.5	4.0	0.9	4.0	0.8
30	歯・耳	4.3	0.7	3.8	0.6	3.8	0.9	3.9	0.8*
12	い ない	3.9	0.8	4.1	0.8	3.8	0.8	3.9	0.8
27	乾 布	4.0	0.9	3.9	0.7	3.8	0.7	3.9	0.8
9	ねまき	3.9	0.8	3.7	0.6	3.7	0.8	3.8	0.8
17	日光浴	3.6	0.9	3.7	0.9	3.8	0.7	3.7	0.8
22	おつむ	3.8	0.7	3.9	0.8	3.6	0.8	3.7	0.8
20	離・作	3.0	1.3	3.1	1.0	3.2	1.0	3.1	1.1
14	テレビ	3.0	0.9	3.2	0.8	3.0	0.8	3.0	0.8
19	写 真	3.0	0.8	2.8	0.8	3.1	1.0	3.0	0.9
18	身に着	2.9	1.1	2.6	1.0	3.2	0.9	3.0	1.0*
15	寝 顔	2.7	1.1	2.9	1.2	3.2	1.0	3.0	1.1*
29	日 記	2.6	1.2	2.9	1.0	3.0	0.9	2.8	1.1
23	食 べ 残	2.7	1.2	1.7	0.7	2.6	0.9	2.5	1.0**

*……P<0.05 **……P<0.01

このように、母親達がスキンシップとして感じているものの中にはかなり種々雑多なものが含まれていることが理解される。

しかし、本調査で実施した結果をみると、表2、表3に見られるように、高い得点を示しているものは身体接触を必要とする項目が多く見られた。例外的に、3.話しかける、6.視線を合わせるの2項目が高得点を示していた。次に低い得点を示した項目では、身体接触と考えられない項目が多く見られた。これはスキンシップという言葉の概念が拡大解釈されてはいるものの、多くの母親がスキンシップは肌のふれあいによって生ずるものと考えているためにこのような結果になったと思われる。そして実際に、23.子どもの食べ残しを食べる、29.育児日記をつけるという2項目はスキンシップとは思わないという判断の傾向を示していると考えられた。

次に表2、表3より、21.母乳をのませるとい項目で、20代と30代の母親の間、正社員とパート職員の間で有意差が見られた。

また、10.添い寝する、24.ねる前に頬ずりするとい項目で、専業主婦と職業を持っている人との間で有意差を認めた。

次に得点の低かった項目で、有意差の見られたのは、15.ねる前に子どもの寝顔をのぞく、23.子どもの食べ残しを食べる、29.育児日記をつける等は年齢的に差が認められた。

また職業の有無によって差のみられた項目は、15.ねる前に子どもの寝顔をのぞく、18.身につける物を作る、23.子どもの食べ残しを食べる等であった。

その他の項目で、年齢的に差のみられたのは、2.ミルクを作る、14.一緒にテレビを見る、17.日光浴をさせる、20.離乳食を作る、30.歯をみがいたり耳そうじをする等であった。

しかし、以上の結果より直ちに年齢間に、或いは職業の有無による有意差があるという意味づけをすることは早急と思われる。特に得点の低い項目の差は、その項目自身がスキンシップを表わしているかどうか疑問の点が多いからである。その意味で将来更に質問項目を検討し、対象者の住む地域差、学歴差、性差等を考慮し、例数を増やして検討する必要があると思われる。

V. ま と め

1. 予備調査として、20代、30代、40代の母親10名ずつにスキンシップと考えられる項目を自由記述させた結果、表1のような調査表が作成された。
2. 調査表を検討すると、身体接触に関するもの10項目、心理的と思われるもの10項目、その他のもの10項目が得られた。
3. 本調査の結果、身体接触に関する項目が高得点を示し、その他の項目は低い得点を示すものが多かった。

本論文の要旨は第36回日本小児保健学会(広島)に於いて発表した。なお、本研究の資料収集に援助してくれた学生、遠藤真理、永嶋法子、望月美幸の諸氏(白梅学園短期大学心理技術科1988年度卒業生)に深謝致します。

参 考 文 献

- 1) 日本語大辞典 (1989), p.1033, 講談社版
- 2) 杉田峰康: スキンシップが上手なお母さん苦手なお母さん, 別冊 PHP, pp.40~56, 1989.
- 3) 現代用語の基礎知識 (1980), p.1079, 自由国民社版

さの りょうごろう (医 学)

おぎの ななえ (心理学)